

平成28年度 第3回徳島県南部地域医療構想調整会議 議事録

平成29年3月16日（木）午後7時から
阿南保健所 2階 会議室

1. 議事

資料に従い事務局から説明（省略）

2. 質疑等概要

（1）議事(1), (2)について

< A 委員 >

「医療従事者の需給見通し」をどこかで作成していただけると、調整会議においても役に立つと思う。

< 事務局 >

看護師の需給推計については、国の「働き方検討会」の検討結果を踏まえて、平成29年度中に作成する事になっている。

< A 委員 >

看護職も在宅医療を担う職であるし、介護職も地域包括ケアを進める上で無くてはならない職種である。また、医師についてもそうである。

2025年に、例えば南部であれば、病床数は出ているが在宅は出ていないので、在宅を含めて医療提供体制がこの量必要であるという、医療従事者はこれだけの量であるというのがないと、最終的に話がまとまらないのではないかと思うので、それを踏まえて検討をお願いしたい。

< 事務局 >

先ほどは、代表として看護職を回答させていただいた。国においては、「医療従事者の需給の検討会」があったが途中で止まってしまい、「働き方ビジョン検討会」が先行して、年度内に結果を出した上で、「医療従事者の需給検討会」で検討するとされているところ。県としては、これを待っているところである。今年度最後の会が非公開とされたと聞いており、幅広い事を想定した結果が予想されるので、各県、各地域ごとにあてはめた場合に、どのくらい役立つツールになるのかというのがある。

ただ、重要な情報であることは確かなので、出すように努めていきたい。

介護の方については、市町村とも連携して行っていきたい。

< B 委員 >

WGというのは、病床数を収れんさせるためのものなのか。そうであるならば、地域医療構想のタイムスケジュールを示していただきたい。

< 事務局 >

厚生労働省から調整会議について年4回程度でこのように進めてはどうか、と示されたところである。

しかしながら、全地域でそのとおりに進められるものではないので、各圏域における調整会議での進め方などについて御提案をいただきながら、WGについても幅広く情報共有をしながらという面もあるので、何回というのは決めていないが、来年度には早い時期に各構想区域で1回目の会を開催して情報共有を図りたい。

< C 委員 >

資料2に「各医療機関」とあるが、どこまでを含めるのか。

< 事務局 >

有床診療所と病院の両方を含めて「医療機関」としている。

< C 委員 >

有床診療所全てが参加するのか。

< 事務局 >

全ての有床診療所と病院に声かけをさせていただきたいと考えている。

在宅も含めるので、在宅に関係する方へのお声かけも検討している。

< C 委員 >

かなりの数になるのではないか。

在宅を含めると、非常に数が多くなるし、高齢でやめる等の理由で流動的にもなる。情報は提供していただきたいが、委員として入るのはどうしたらよいのかと思う。

< A 委員 >

確認であるが、有床診療所は「厚生支局に届出している一覧表」を見ると、「有床診療所」として届け出ているが、病床が動いていない有床診療所があるが、有床診療所と付いていたら声かけするのか。

< 事務局 >

有床診療所と届け出ている医療機関に声かけはさせていただきたいと考えている。

< D 委員 >

各郡市医師会長は、「在宅をしている医師は誰か」などをある程度分かるので、相談していただければピックアップしても良い。情報が欲しい医師もいるので、希望者は参加させていただきたいが。

< E 委員 >

海部郡については、代表者が会に出て、持ち帰って話をする形が良いのではないか。

< 事務局 >

各郡市医師会長から御意見をいただいたので、無床診療所等、特に在宅医療を行っている医療機関については、各郡市医師会に御相談させていただいて決めたい。

< E 委員 >

地域の包括の会で、医療資源のマップとかを作成してみてもいいから考えてみたい。その上で、希望者があれば参加させたい。

< 事務局 >

東部の会議で話が出た「栄養士会」「歯科衛生士会」について、南部でもWGに追加させていただくと言うことで良いか。(異議なし)

< 議長 >

議事を終了する。

以上